

特集

幸福感 次のステージ

ブータン国王夫妻が来日するなど、幸福感への関心が高まっています。幸福感の研究は心理学でも広く行われるようになりました。「幸福感なんて研究できるものなの？」ときかれたこともあります。確かに「これこそ幸福です」というように固定化した考えを押し付けられたとしたら、嫌なものです。また、幸福であることや生きることについて研究してきた専門家にとって、震災後には考察の前提そのものが変わってしまったという感覚もあるようです。固定化したとらわれを脱すること、専門家でさえよるべなく感じる時代であるがゆえに、連綿と続く知の営みを再確認すること。これが、この特集の背景にある思いです。

日本とブータンとアメリカ。現代から古代インドやギリシアへ。理性と感情、そして意識と無意識のはざま。新たな視点に触れる喜びや、意外なつながりを見つける喜びが、きっとあるのではないかと思います。2600年も前の人々も、また幸福について考えていたのだ、というつながりを感じることで、ふと暖かな気持ちにもなれるかもしれません。次のステージへようこそ。

(杉浦義典)